

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

「ICT活用による保健師活動評価手法の開発及びPDCAサイクル推進に資する研究」

保健師のICT 活用・デジタル化に関する全国調査

都道府県様 調査説明書



● 調査目的と意義

目的：地方自治体での保健師活動におけるICT活用及びデジタル化の現状や課題、ニーズ等の実態を明らかにすることです。

意義：地方自治体における保健師活動でのICT活用及びデジタル化の実態が明らかになることにより、今後のICT活用及びデジタル化を推進するための施策や制度、人材育成のプログラム等を検討する上での示唆を得ることができます。

なお本調査の成果は、ICT活用及びデジタル化推進や人材育成にお役に立てけるように報告書としてまとめ、調査にご協力いただいた自治体様にお送りいたします。

● 調査対象者

全国の都道府県及び市区町村に所属する統括保健師
または統括的役割を担う保健師の方



● ご協力頂きたい内容

- ① オンライン調査票へのご回答をお願いします。オンライン上で回答・提出ができます。
※以下の調査回答手順に従ってご回答をお願いします。所要時間は前半・後半合わせて20分程度です。
※オンライン調査へのアクセスが難しい場合には、エクセルの調査票をお送りします。
お手数ですが、下記の問い合わせ先までメールまたはお電話にてご連絡ください。
- ② 貴管内市町村（保健所設置市及び特別区を除く）へ、依頼状および調査説明書の送付をお願いします。
※市町村へのご送付が難しい場合は、ご一報いただけますと幸いです。
以上、お手数をおかけいたしますがどうぞよろしくお願いいたします。

● 回答期限

2023年11月2日（木）10月27日（金）までにご回答をお願いします。

※回答期限を延期しました

● 調査回答の手順

- ☆ 調査票は前半と後半の2部構成です。両方にご回答ください。
- ☆ 調査票のサンプルを同封していますが、ご記入・ご提出はオンラインまたはエクセル調査票にお願い致します。

▣裏面もご覧ください

- ◇ 後半は母子保健活動に関するICT活用・デジタル化の質問です。ご回答が難しい場合は、母子保健担当保健師にご回答いただいても構いません。

オンライン調査の構成	前半 保健師活動全般に関する ICT活用・デジタル化の質問 (所要時間:10分程度)	後半 保健師の母子保健活動に関する ICT活用・デジタル化の質問 (所要時間:10分程度)
回答ページURL	https://jp.research.net/r/phn-ict2023	https://jp.research.net/r/phn-ict2023-boshi
二次元コード		
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師活動等におけるICT活用やデジタル化の取り組み状況 ・ICT活用やデジタル化を進める上での課題や問題点、阻害要因 ・専門部署や組織の設置状況 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に関するICT活用やデジタル化の取り組み状況 ・母子保健活動のICT活用やデジタル化のメリット ・母子保健情報を活用した母子保健活動評価の状況 等

● 倫理的配慮

- ◇ 調査への参加は任意であり、あなたの自由意思によって決められます。参加しない場合であっても、あなたには何の不利益も生じません。
- ◇ あなたの調査協力への諾否について、他の方にお伝えすることはありません。
- ◇ 研究の成果は、報告書や関連学会、学術雑誌論文等において公表する予定です。その際、個人情報には十分配慮し、個人を特定できる情報が公開されることはありません。

◆ 研究組織

研究代表者：慶應義塾大学・教授 田口敦子
 共同研究者：慶應義塾大学・教授 杉山大典、准教授 宮川祥子、
 助教 赤塚永貴、特任助教 大澤まどか
 研究協力者：大分県西部保健所／全国保健師長会 吉田知可
 葛飾区青戸保健センター所長 高山公子
 横浜市政策局政策課データ 高橋勇太

◆ お問い合わせ先 (平日 10:00～17:00)

慶應義塾大学 看護医療学部 地域看護学分野
 研究責任者：田口敦子、連絡担当者：赤塚永貴・大澤まどか
 Mail: phn-ict-group@keio.jp
 Tel: 0466-29-6238